

交流電気機関車 ED75

ED75 700番台

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鋭角の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアスーマーカ―をご利用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむを得ず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

「お買い上げのお客様へ」不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 板木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <シャーシの組立・1>

- 車輪押さえに、車輪をセットして床板を合わせます。カブラーポケット部は、パチンとなるまでしっかり押し込んでください。

- カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

ダミーカブラー
(連結は出来ません。)

自動連結器

- 先に車輪押さえにセットしてから、シャーシを組み立てます。

2 <シャーシの完成>

- シャーシ側面に、車輪カバーを取り付けます。

向きに注意!

- 車輪カバーの向きに注意してください。

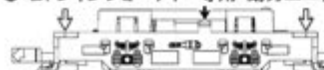
Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット」**1**・機関車用を使用します。



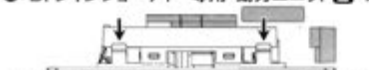
●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

- スノボロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

●EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いのでカブラーの設置が充分にできません。直道運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- 「トレインショーティ専用・動力ユニット」**2**・電車・気動車用を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体と固定します。

- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「トレインショーティ専用・走行台車」**3**を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車を台車ピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

●台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

●スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。

●新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。

●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

●線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。

●Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。

●走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。

●動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

●EF64e、DF50、DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。

●11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 テビ客車用動力ユニット

●KATO製「テビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、別取り扱い付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO: 11-401 PS14: 直流パンタグラフ

KATO: 11-403 PS22: 直流・下枠変形パンタグラフ

KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ

※11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。

グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ

グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ

グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ

クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT339-タイプ 103系など

急行電車① 空気バネ台車タイプ DT329-タイプ 165系、485系など

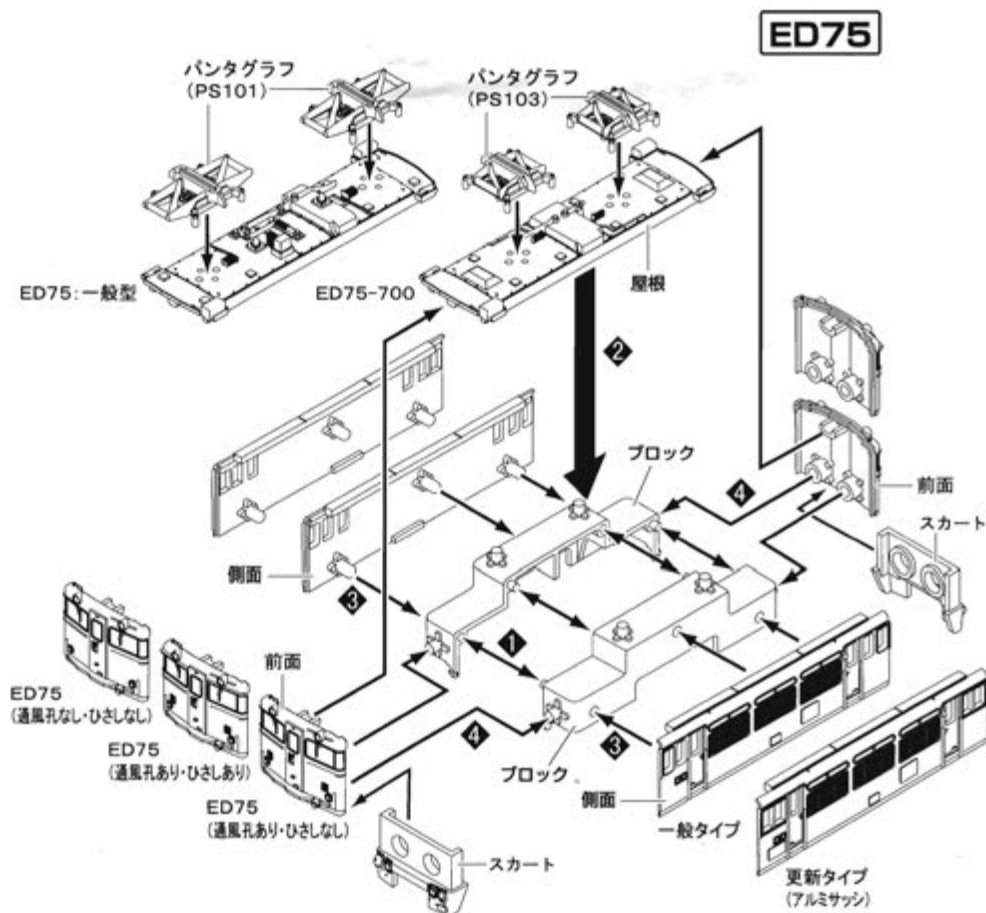
通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT619-タイプ E231系など

車体の組立て

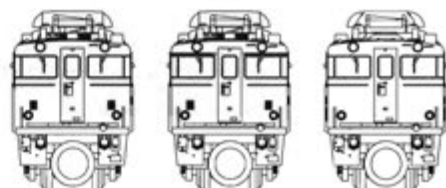
- ①左右のブロックを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。
(スカート、デッキ付きの車両は、先に前面に取り付けます。)
- ⑤シャーシの穴、爪に合わせて車体をかぶせて完成です。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。



ED75 正面の形状について



通風孔あり
ひさしなし

101~160-311号機
1001~1025号機

通風孔あり
ひさしあり

50~100-501号機

通風孔なし
ひさしなし

701~791号機
1026~1039号機

(1~49-301~310号機)

*初期タイプはスカート幅の形状が異なります。

コンテナ車

コキ50000, コキ750000, コキ104, 106, 110

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 鋭縁の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の万動、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

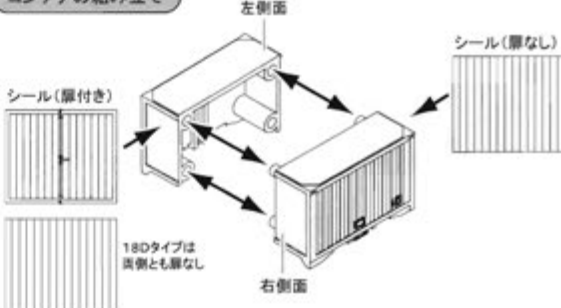
【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等ご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

コンテナの組み立て



- イラストはC20タイプです。他のタイプも組立て方は同じです。
- コキには2個、コキフには1個付属します。

コンテナ車、パレット貨車のNゲージ化について

コンテナ車、パレット貨車では、実車に合わせて小さなサイズの台車を再現しています。このため、一般の電車用台車(Nゲージ各社製品、走行台車Tを含む)を取り付けることはできません。

Nゲージで走行させるには、KATO製貨車用の台車「8016用」(8016:ホキ2200, 8023:レサ5000, 8024:ワキ8000)を使用してください。
*修理用ASSYパーツですので、店舗によってはお取り扱いのない場合があります。

なお取り付け時に、台車のカブラー部分と車体の手すり基部、車輪フランジと床板部が接触しますので、急曲線や高低差のある線路では、それぞれを少し削ってください。

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビESHOPなどでお問い合わせください。

*ブレイクショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「ブレイクショーティ専用・動力ユニット」機関車用を使用します。

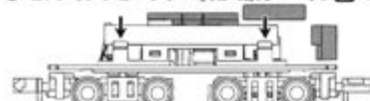


●床板前後の穴(2)と、左右2箇所の爪(4)で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200, EF210, DD53などは、車体長が長いカブラーの重なりが充分にできません。直進運転や、緩急カーブ、急カーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- 「ブレイクショーティ専用・動力ユニット」電車・気動車用を使用します。



●左右4箇所の爪(4)で、車体と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「ブレイクショーティ専用・走行台車」を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止ピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止めピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体細にカブラーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用方法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- EF64e, DF50, DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。
- 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 チビ客用動力ユニット
- KATO製「チビ客用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車種によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
- このほか、別取り扱い方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直線/パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直線・下斜交角パンタグラフ
- KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直線/パンタグラフ
- 11-420は、磨耗穴が4箇所の標準に対応します。
- グリーンマックス: 80-2: PS13: 直線/パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3: PT42: 直線/パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5: PT43: 直線/パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアーム・パンタグラフ
- このほか、取り付けピンが種2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



コンテナ貨物列車

車体番号・ED75(前面・側面)

ED 75 81	ED 75 82	ED 75 83	ED 75 85
ED 75 86	ED 75 88	ED 75 89	ED 75 90
ED 75 112	ED 75 113	ED 75 113	ED 75 117
ED 75 114	ED 75 114	ED 75 114	ED 75 114
ED 75 140	ED 75 140	ED 75 140	ED 75 140
ED 75 142	ED 75 142	ED 75 142	ED 75 142
ED 75 206	ED 75 206	ED 75 206	ED 75 206
ED 75 4004	ED 75 4004	ED 75 4004	ED 75 4004
ED 75 4008	ED 75 4008	ED 75 4008	ED 75 4008
ED 75 4010	ED 75 4010	ED 75 4010	ED 75 4010
ED 75 4016	ED 75 4016	ED 75 4016	ED 75 4016
ED 75 4020	ED 75 4020	ED 75 4020	ED 75 4020
ED 75 4024	ED 75 4024	ED 75 4024	ED 75 4024

車体番号・ED75(前面・側面)

ED 75 704	ED 75 704	ED 75 704	ED 75 704
ED 75 708	ED 75 708	ED 75 708	ED 75 708
ED 75 710	ED 75 710	ED 75 710	ED 75 710
ED 75 716	ED 75 716	ED 75 716	ED 75 716
ED 75 726	ED 75 726	ED 75 726	ED 75 726
ED 75 727	ED 75 727	ED 75 727	ED 75 727
ED 75 730	ED 75 730	ED 75 730	ED 75 730
ED 75 734	ED 75 734	ED 75 734	ED 75 734
ED 75 738	ED 75 738	ED 75 738	ED 75 738
ED 75 740	ED 75 740	ED 75 740	ED 75 740
ED 75 742	ED 75 742	ED 75 742	ED 75 742
ED 75 743	ED 75 743	ED 75 743	ED 75 743
ED 75 752	ED 75 752	ED 75 752	ED 75 752
ED 75 754	ED 75 754	ED 75 754	ED 75 754
ED 75 756	ED 75 756	ED 75 756	ED 75 756
ED 75 767	ED 75 767	ED 75 767	ED 75 767

ヘッドマーク



